

相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	凍傷足と塹壕足の鑑別に有用な所見はなにか (承認 No. 2023-107)
当院の研究責任者 (所属・職名・氏名)	形成外科・医長・水藤元武
本研究の目的	凍傷足と塹壕足は寒冷環境下で発症し、所見も似ているため誤診されやすいことが指摘されています。塹壕足が凍傷と誤診され急速加温されてしまうと浮腫や疼痛を増悪させてしまいます。そのため、初診時に両疾患を正しく鑑別し適切な治療を行う必要があります。しかし両疾患の鑑別に有用な所見について詳細に報告した文献はありません。そこで当院で加療した両疾患の方を比較検討し、鑑別に有用な所見を明らかにすることで、正しく診断し適切な治療を行える可能性が高くなります。
調査データ 該当期間	2005年12月～2023年5月
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さん 上記期間内に期間に凍傷足または塹壕足と診断された方 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査項目（年齢、性別、受傷月、受傷機転、受傷範囲、足の受傷部位の左右差、寒冷環境に起因する疾病の有無（凍傷指、塹壕手、低体温症）、退院時のしびれの有無と範囲）、受傷時の身体所見（写真）個人を特定出来ないように加工した写真 ●研究期間：2024年2月28日～2024年12月31日
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	相澤病院 形成外科 医長 水藤元武 Tel : 0263-33-8600(代表)
備考	なし